



古志原小だより

令和8年3月10日

その11 文責：校長 岩井

令和7年度 学校評価より

今年度も児童、保護者のみなさま、そして教職員を対象として学校評価アンケートを実施しました。今年度を振り返りながら、次年度改善を図っていきたい点、取組について教職員で話し合いを進めているところです。また、2月24日には、学校運営協議会を行い、その中で学校評価結果をお示しし結果について共有を行いました。

ご回答いただいたみなさま、お忙しい中大変お世話になりました。ありがとうございました。

重点	項目	アンケート		
		児童	保護者	教職員
豊かな心	学校が、児童に気持ちのよい挨拶ができるなど基本的な生活習慣の指導を進めている割合	79%	77%	93%
	学校が児童が困ったときに相談しやすい環境づくりを進めている割合	79%	67%	88%
	学校が思いやりの心、言動が出来るよう進めている割合	78%	71%	90%
	児童が楽しく学校生活を送っている割合	80%	84%	95%
確かな学力	学校が読み書き計算など基礎的な学力の定着を図っている割合	82%	91%	85%
	学校が読書活動、読書教育を通して読書を楽しむように進めている割合	69%	52%	63%
	学校が宿題、自主学習を通して家庭学習の習慣育成を進めている割合	85%	77%	73%
	学校が、児童が他者の話を聞き、自分の考えを話すことが出来るよう指導している割合	78%	78%	90%
	学校が、行事、集会活動等を通して児童が助け合い協力しながら取り組めるように努めている割合	88%	92%	81%
な健全な身体や豊かな心	学校が安全(不審者対応、交通事故、火災予防等)に対する指導を行い、安全確保に務めている割合	91%	86%	93%
	学校が、外遊び、運動など体づくりを行うことを通してがんばる力を育成しようとしている割合	86%	81%	63%
連家庭・地域の	児童を支えるために学校が家庭と連携しながら教育活動を行っている割合		84%	81%
	学校が設定した授業公開日の回数、内容が妥当であった割合		83%	60%
	学校がHPや学校、学年、学級だより等で学校の様子が分かるよう情報提供に努めている割合		92%	70%
	学校が古志原や松江市のことについて学ぶ機会を促し、ふるさと教育を推進しようとしている割合	84%	80%	68%

アンケート結果は、同じカテゴリについて、児童、保護者、教職員で共通に答えてもらったものをお示ししています。回答の数字は「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と肯定的な回答をパーセンテージで表しています。

全体的に見ると、多くの項目において70%~90%の回答をいただき、肯定的な評価をいただいていることが分かりました。

学校教育活動において、行事による成長、経験による成長を大事にしていきたいと考えているところですが「行事、集会活動等を通して児童が助け合い協力しながら取り組めるように努めている」(確かな学力)という点について、こどもたちの意識が高いことを嬉しく思います。活動を通して友だちの新たな一面を発見したり、お互いに認め合ったりすることの高まりを今後も大事にしていきたいと思っています。

一方、今年度大事にしていきたい取組であり、年度途中に教職員で再確認した「児童が他者の話を聞き、自分の考えを話すことが出来るよう指導している」(確かな学力)について、こどもたちの回答が少し低いように思いました(78%)。今後指導を重ねるなかで、これからの社会を生きていくために必要な合意形成能力を高められる取組を大事にしていきたいです。

「学校が児童が困ったときに相談しやすい環境づくりを進めている」「学校が思いやりの心、言動が出来るよう進めている割合」(豊かな心)について、児童、保護者、教職員の意識に差があるところについて気になりました。こどもたちが安心して教職員に相談できる体制について、担任、関係職員、管理職などこどもたちが相談するための複数の窓口をもつなど工夫しながら、こどもたちが安心して学校生活を送ることができるよう進めていきます。「思いやりの心、言動」について、大事であり必要なことを指導していくことはもちろん、道徳などの教科学習環境での意識も高めながら、こどもたちの意識を高めることができるようにすることが今後の課題と受け止めています。

また、学校評価アンケートでは記述にてご回答もいただいております。学力向上に関すること、家庭学習に関すること、行事、授業公開に関すること、メディアとの関わりのこと、読書活動のこと、人間関係に関わることなど、多岐に渡り多くのご示唆をいただいているところです。これらいただいたご意見について真摯に受け止め、教職員全体で共有しながら、次年度の古志原小学校の教育活動に生かしていくことができるよう努めてまいります。

保護者のみなさま、アンケートへのご回答に協力いただきありがとうございました。

6年生を送る会より



2月27日(金)、6年生を送る会を実施しました。インフルエンザ等、こどもたちのコンディションを心配するなかでしたが、無事行うことができました。

5年生が会の運営等、中心に立ちリーダーシップをとって送る会を作り上げました。各学年からは、6年生にむけての言葉、エールを送るなど、それぞれ工夫があり、心のこもった出し物で6年生へ感謝の気持ちを伝えました。

5年生は、この会を盛り上げようと、司会をはじめ演出のみなさんも、とても大きな声を出したり、表情豊かに会を進めたりするなど新たなリーダーとしてがんばりました。

「ふれあい班」の縦割り活動において年間通しての交流の集大成ともいべき会であり、古志原小学校のこどもたちが、こどもたち主催で行う最後の行事でした。